

愛犬しつけ方教室



14日金曜日、公民館中庭でJKC公認訓練士の遠藤ゆかり先生指導のもと、『愛犬しつけ方教室』を行い、6組の飼い主とワンちゃんが参加しました。

普段の飼い主との接し方はもちろん、他の犬との接し方など色々な場面を想定して、愛犬との接し方について学びました。皆さん、真剣な眼差しで先生のお手本を見たり、積極的に質問して話に耳を傾けたりしている姿が印象的でした。

プロの的確なアドバイスで根気よくレッスンするうちに、お散歩の引っ張りが改善されたり、ワンちゃんも飼い主を気にするようになったりと、徐々に効果が表れてきた子もいました。幸いお天気にも恵まれ、暑いなかでしたが途中木陰で涼みつつ、ワンちゃんも最後までよく頑張りました。愛犬を通して、楽しく学びながら交流する良い機会になったのではないのでしょうか。

次回の『愛犬しつけ方教室』は冬頃予定しています。

0・1・2ちゃんママおしゃべり広場

子育ての情報交換やママ友を作りたいと思っている方!!ぜひお越しください。

日時：**21日**(月)午前10時～11時30分

会場：西公民館 和室①

参加費：無料 内容：手遊び・読み聞かせ

対象：乳幼児親子 持参：バスタオル

※保護者はマスクを着用してください。

※おもちゃ等、消毒しております。



スマホ初めて体験会



スマートフォンの操作って難しいと思っていませんか?実際に触って体験でき、講師が丁寧に優しく教えてくれます。この機会に是非!!

日時：**7日29日**(木)午後1時30分～

会場：集会室 参加費：無料

対象：20人(先着) スマホ未所持者・初心者

講師：スマートフォンアドバイザー

※参加者はマスクを着用してください。

申込：**28日**(月)午前9時から

西公民館行政サービスのご案内

受付時間：平日 午前8時30分～午後5時15分

内 容	料 金
粗大ゴミ収集券	1枚 550円
改訂版「わらび郷土かるた」	1冊 500円
第二中学校夜間照明使用コイン	1枚 1,030円

「冒険遊び場」と知り合って・・・

外遊びを考える会「どろんこの王様」

平川 幸子

「常識ってなんだろう？」

昨年の今頃は緊急事態宣言が解除され、学校再開に安堵する人、逆に不安になる人もいたのではないのでしょうか。外出する際もマスクをしたり、人との距離を空けたり、大人だけでなく子どもまでもが新しい生活様式を求められるようになりました。テレビやネットニュースでは『自粛警察』や『マスク警察』という言葉も飛び交いました。これまでなんとなく常識を共有していると感じ秩序を保ってきた大人たちが、コロナ禍での新生活に困惑している様子が伺えます。

そもそも常識ってなんでしょう？私はそう思う機会にたびたび遭遇します。というのは、子どもの行動に対して、その時の親の対応に対して、非常識という言葉を使う人が少なからずいるからです。中には親同士が常識論で争うケースもちらほら。大人の仲たがいで子どもたちが遊べなくなってしまうなんてことも目の当たりにしました。でも、今回のコロナ禍における大人たちの困惑ぶりにも表れているように、私たちが当たり前だと思っていた常識が、いかに脆く儂いものかということが解ります。

子どもを生み育てる中で、思うように行かず、これまで培ってきた常識を覆さなければならぬ経験を何度もしてきました。子どもに大人の常識は通用しません。ではどうすればよいか？子どもの特性に合わせた育て方を調べて実行してみたり、自分自身の子どもの時代を思い出しながら対応したりと試行錯誤の毎日です。多くの親がきっと、目の前にいる子どもと向き合いながら、それぞれに努力をしていることでしょう。

ですから、非難するより、争うより、興味を持ち対話ができるとよいですね。子どもたちは言語や常識や価値観を超えたグローバルな未来を生きていきます。だからこそ、違った考えを持つ人たちが認め合い共存する社会の中で子育てできる環境が必要だと思えます。

フレーザーパーク



日時：19日（土）午前10時～午後4時

対象：どなたでもOK！

※未就学児は保護者と一緒に参加

けろっこぱーく

日時：8日（火）午前10時～午後1時

対象：未就園児と保護者

内容：自分の発想で遊びを考える

会場：富士見公園

主催：外遊びを考える会「どろんこの王様」

共催：蕨市立西公民館



ねえねえきいて

さつき保育園

4歳児 きりん組 平野 淳子

「目指せ 世界一！！」

昨年度に、ミニトマトとミニひまわりを育てた事がとても楽しかったようで、今年度も美味しいお野菜を作ろうと張り切っている子どもたち。

「ぶどうがいい。」「みかんがいいよね。」など果物を育てたい子や「お肉を作りたい！」と言う子など、育てたいものがたくさんありなかなか決まらず、何日も話し合い、今年のうちに食べられるものを育てることにしました。

「おいしくなあれ～」と自分たちで育て、大好きになったミニトマトをまた今年も作りたいたいと言う子が多かったので、今年はミニトマトではなく、大きいトマト作りに挑戦することにし、もう一つは、「ピーマン苦いけど、世界一美味しいピーマンを作りたいな。」という意見に、「美味しいピーマンなら食べられる～！！」と、皆が賛成したのでピーマンに決定しました。土づくりの手伝いや、苗を植えた後も毎日「喉乾いてるからお水あげね～」と声を掛けながら順番に水やりをし、「もうすぐお花が咲きそうだね。」と、どんなお花が咲くのかを楽しみにしているので、ピーマンは苦手な子が多いけれど、「ピーマン美味しい！」という声が聞こえるように、『目指せ 世界一のピーマン！！』を合言葉に皆で楽しく育てていきたいと思えます。